

「三宅山御鹿狩絵巻」(竹田市歴史文化館蔵)

Miyakeyama
onsikagari emaki

令和5年度企画展

全巻見せます!

三

宅

山

御

鹿

狩

絵

巻

12月23日(土)
1月3日(日)

会場 竹田市歴史文化館 特別展示室ちくでん館

開館時間 午前9時～午後5時(最終入館は午後4時30分まで)

休館日 木曜日・年末年始(12/28(木)～1/4(木)まで)

観覧料 一般 500円(400円)

65歳以上 250円

小中学生 300円(200円)

幼稚園以下 無料

各種障がい者手帳提示とその介護者1名 無料

※()は団体料金[20名以上]

※上記金額は国指定史跡旧竹田荘の観覧料を含みます。

※岡城ガイダンスセンターと市民ギャラリーは観覧無料です。

主催 竹田市・竹田市教育委員会

後援 大分合同新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送

TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、

J:COM大分ケーブルテレコム

竹田市歴史文化館・由学館

Taketa History and Culture Museum

〒878-0013

大分県竹田市大字竹田 2083 番地

TEL&FAX 0974-63-2200

全巻見せます！

三宅山御鹿狩絵巻

岡藩では、3代藩主中川久清以降、軍事訓練も兼ねて藩主の権威を示す行事として藩主が岡に在る間に一度は鹿狩を行う慣わしがありました。11代藩主中川久教は、文政2年（1819）4月5日と9日の2日間、三宅山（竹田市）で鹿狩を行い、その行列の様子を絵巻として描かせました。完成した「三宅山御鹿狩絵巻」は全16巻、全長272mになります。名前が記された642人をはじめ登場人物2762人の顔つき、服装、持ち物等、詳細に描かれています。藩絵師総がかりで約5年の歳月を費やして完成しました。

今年、「三宅山御鹿狩絵巻」を作成した絵師の中心的な役割を担った淵野真斎の没後200年にあたることから、繊細で精密な、力量の高さがわかる絵巻の全巻を、展示替えを繰り返しながら紹介いたします。県指定有形文化財である「三宅山御鹿狩絵巻」を、描かれている人物の思いについて、想像しながらじっくりとご覧いただきたいと思っております。

初！全16巻大公開！！

5色のチームに分かれて

かり うま しろし
仮馬駿

戦陣において、大将の馬側に立ててその所在を示す目標としたものです。

バランスを懸命に保ちながら、大きな仮馬駿を4人が担ぎ、2人が縄で引っ張って支えています。



3巻

火の用心…？



鉄炮に使用する火縄を持つ人の中には、なんと!!火が付いた火縄を持つ人もいます。

行進リズムはトントン・トントコ

行列の歩調は、貝（ほら貝）や太鼓の調子に合わせて整えました。道の曲がり角、橋の上、上り坂、下り坂では、貝や太鼓の調子を変えて行進の速度を調整し、隊列が乱れないようにしました。



11巻

用掛 志水雲四郎!!

総責任者である中川平右衛門を補佐し、計画から実行までの実質的な責任者です。

志水雲四郎



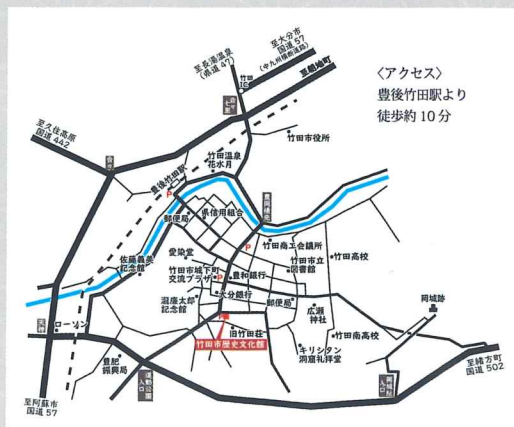
13巻

【展示巻数スケジュール】

- ◆ 1 ~ 4 巻 ▷ 12/23 ~ 1/17
- ◆ 5 ~ 8 巻 ▷ 1/19 ~ 1/31
- ◆ 9 ~ 12 巻 ▷ 2/2 ~ 2/14
- ◆ 13 ~ 16 巻 ▷ 2/16 ~ 3/3

※各巻毎に、期間中、一部展示替えを行います。

1月11日、25日、2月8日、22日に展示替えを予定しております。



来館2回目から
ステッカーを
プレゼント!

12/23~1/17

1/19~1/31

2/2~2/14

2/16~3/3